

平和首長会議加盟都市の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆小溝事務総長が南米3か国及びドイツを訪問[1月31日～2月13日]
- ◆15都市がリーダー都市就任を承諾
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
- ◆加盟都市の活動紹介（グラノラズ市・パルセロナ市（スペイン）、フィールーゼ市（イラン））
- ◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆2月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟都市数：160か国・地域 6,585都市

~~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*

=====

◆小溝事務総長が南米3か国及びドイツを訪問

[1月31日～2月13日]

=====

小溝事務総長は、平和首長会議リーダー都市就任要請等のため、南米のブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、及びドイツを訪問しました。

ブラジルには2月2日から4日まで滞在し、サントス市長に平和首長会議リーダー都市への就任を要請しました。同市長は、サントス市は平和のために寄与する覚悟があり、リーダー都市になることを承諾したいと明言し、在サントス日本人会等の協力も得ながら直ちにリーダー都市就任の準備を進めていきたいと述べました。また、同市に隣接するサンパウロ市に平和首長会議の活動への協力を要請し、前向きな回答を得ました。この他、ブラジル被爆者平和協会や平和NGO「核兵器禁止世代(BANg : Ban All Nukes generation)」関係者と面会し、平和首長会議の取組の説明や情報提供、今後の連携に関する意見交換等を行いました。

アルゼンチンには2月5日から7日まで滞在し、首都であるブエノスアイレス市に平和首長会議リーダー都市への就任を要請し、面会した同市文化大臣（局長に相当）から受諾する方向で市長と協議を行うとの回答を得ました。また、メルセデス市長及びロサリオ市長に平和首長会議の活動への協力を要請し、前向きな回答を得ました。メルセデス市は2月に平和首長会議に加盟したことから、会見の中で加盟認定書を手渡したところ、セルバ市長は謝意を示し、平和首長会議に加盟した都市の責務として世界恒久平和の実現を誓うと述べました。その他、ブエノスアイレス市内の日本庭園内にある「平和の鐘」（広島から寄贈されたもの）を打ち鳴らす平和行事に出席し、挨拶を行いました。

ウルグアイでは2月9日、首都であるモンテビデオ市の市長に平和首長会議リーダー都市への就任を要

請しました。平和首長会議リーダー都市就任への要請に対しては、実質的な貢献をしたいとの決意が示され、正式には、改めて書簡で回答するとのことでした。オリベラ市長は、被爆 70 周年を迎え、より積極的に平和活動に取り組みたいとして、互いの関係を発展させ、平和首長会議のために努力していきたいと述べ、同市が加盟している「南米共同市場加盟国都市連盟」のネットワークを通じて、平和首長会議への協力を働き掛けていく意向を示しました。

ドイツでは 2 月 12 日、フランクフルト市議会議長に平和首長会議の活動への協力を要請しました。面会時には、フランクフルト市近郊のランゲン市、ダルムシュタット市の市長も同席しました。また、平和首長会議の活動に協力してきた IPPNW 関係者と面会し、平和首長会議の取組の説明や情報提供、今後の連携に関する意見交換等を行いました。

=====

◆15 都市がリーダー都市就任を承諾

=====

平和首長会議では、2013 年 8 月の第 8 回総会で採択した行動計画に基づき、地域のグループ化の推進と地域活動の活発化を図るため、リーダー都市の選任を進めています。これまでに次の 15 都市がリーダー都市就任を正式に承諾しました。(順不同)

マンチェスター市 (英国・アイルランド)、グラノラズ (スペイン)、マラコフ (フランス)、アクロン (米国)、フリマントル (オーストラリア)、セメイ (カザフスタン)、バンコク (タイ)、ウェリントン (ニュージーランド)、サラエボ (ボスニア・ヘルツェゴビナ)、モントリオール (カナダ)、コーチ (インド)、ハラブジャ (イラク)、ボルゴグラード (ロシア)、フォンゴトンゴ (カメルーン)、広島 (日本)

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース (連載第 5 回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

被爆 70 年を機に、あらためてヒロシマへの関心が高まっています。惨状をいち早く世界に伝えたルポ「Hiroshima」(1946 年)の著者ジョン・ハーシーの孫をはじめ、海外から広島を訪れる人が目立ちます。核兵器廃絶の訴えを国内外で強めようとする動きも活発です。一方で、広島県第 2 の都市、福山市の被爆者団体が、3 月末での解散を決めました。被爆体験継承の努力が一層求められる、節目の年になりそうです。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○ 被爆惨状伝えた「ヒロシマ」著者 ハーシーの孫が 70 年目の訪問

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=41657>

○ 平和式典に国連合唱団 被爆 70 年で 8・6 参列

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=41629>

○ 広島で非核「賢人会議」 8 月 24・25 日に

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=41213>

○ 核廃絶の願い 芸術で発信 8 月 11・12 日 広島で慈善コンサート

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=41573>

○ NPT 会議に 93 人派遣 生協連、都内で結団式

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=41439>

○ 「あの日」継承に危機感 福山市原爆被害者の会 3 月末解散

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=41178>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*グラノラーズ市・バルセロナ市（スペイン）

被爆 70 周年記念ヒロシマ・ナガサキ原爆展に合わせ梶本淑子さんが被爆体験証言

スペインのバルセロナ市で 1 月 13 日から 2 月 8 日までの間、グラノラーズ市で 2 月 11 日から 3 月 8 日まで開催された被爆 70 周年記念ヒロシマ・ナガサキ原爆展に合わせ、広島の被爆者である梶本淑子（かじもと・よしこ）さんがバルセロナ、グラノラーズ両市を訪れ、両市及びラガリーガ市の 4 つの学校において計 300 人以上の生徒の前で被爆体験証言を行ったほか、バルセロナ市における平和団体主催のイベントでも証言を行いました。

平和首長会議副会長都市であるグラノラーズ市では、市役所において、市議会議員及び同市のマイヨラル市長の歓迎を受けました。マイヨラル市長は、各都市で過去に悲惨な体験をした人々の経験を記憶し、若い世代に継承することの重要性を強調しました。

グラノラーズ市博物館では、パネルに加え、被爆資料 10 点が展示されました。オープニングの行事では、同市の合唱団が「長崎の鐘」を合唱しました。この際も、梶本さんが証言し、多くの参加者が被爆当時の状況に耳を傾けました。梶本さんと、幼少時にスペイン内戦で爆撃を経験したグラノラーズ市民との交流は、非常に心に響くものでした。

▼関連記事（平和首長会議ウェブサイト、英語）

<http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2015/Granollers/exhibition2.html>

▼関連記事(グラノラーズ市ウェブサイト、カタロニア語)

<http://www.granollers.cat/noticies/ajuntament/inauguraci%C3%B3-expo>

*フィールーゼ市（イラン）

平和首長会議オンライン原爆ポスター展

昨年 12 月に加盟したフィールーゼ市（イラン）では、同市ウェブサイト内に平和首長会議原爆ポスター（英語）のページを作成し、オンライン展示を始めました。

▼オンラインポスター展のページ（フィールーゼ市ウェブサイト、英語）

<http://www.firouzehcity.ir/mayorsforpeace.html>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

<< 貴市区町村の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

3 月は、マーシャル諸島のビキニ環礁での核実験から 61 周年（3 月 1 日）、東京大空襲 70 周年（3 月 10 日）、ハラブジャ市での化学兵器攻撃 27 周年（3 月 16 日）等、様々な節目を迎え、追悼行事も多く実施されたことと思います。貴市区町村における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴市区町村のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼E メール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を、今年度から開始しました。

2 月 1 日から 28 日までに、国内では、小金井市（東京都）にアオギリを一本、長久手市（愛知県）及び広川町（和歌山県）にアオギリとクスノキをそれぞれ一本ずつ配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木には、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合には翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、加盟都市の 5000 突破を契機として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250 を超える都市がポスター展を開催しています。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011 年 11 月の理事会及び 2012 年 1 月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は 2013 年 8 月の第 8 回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2015 年 3 月 1 日現在、1,452,070 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆2月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、2月に次のような外国人来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- *2月3日(火) 中国人民平和軍縮協会代表団一行
- *2月11日(水) ペーター・マウラー 赤十字国際委員会総裁
- *2月11日(水) アフメット・ウズムジュ 化学兵器禁止機関事務局長
- *2月20日(金) 米国議会下院議員団一行
- *2月20日(金) イラク国会議員一行
- *2月23日(月) 独日平和フォーラム一行

▼関連情報：広島市/日々の動静—2015年2月

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1422864234584/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟都市数：160か国・地域 6,585都市

=====

皆様のご理解とご協力により、今月48都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は3月1日現在で6,585都市(160か国・地域)となりました。

日本国内では、東京都墨田区等1区5町が加盟し、国内加盟都市数は1,545都市(加盟率88.7%)となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの35都市が新たに加盟し、同国の加盟都市数が585都市となりました。この他、ドイツ、イタリアからそれぞれ3都市、フランスから1都市が加盟しました。

引き続き近隣未加盟都市や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願いします。

▼3月1日付新規加盟都市一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1503_jp.pdf

▼加盟都市マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp